

いんくみ 広島

VOL.377
平成30年1月

新年特別号

発行／広島県印刷工業組合

発行人／中本 俊之

広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954

URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp



年頭所感

広島県印刷工業組合
全日本印刷工業組合連合会

理事長 中本 俊之
会長 臼田 真人

年男新春エッセイ

NTT印刷株式会社 広島工場
(株)ユニックス・セイコービジネス(株)
株式会社ユニバーサルポスト
株式会社ユニックス広島本社

馬場崎 清
宇都宮 公徳
橋本 弘幸
貞森 大介

第5回 拡大理事会開催

基調講演 全日本印刷工業組合連合会会長 臼田 真人 氏
「業界展望と印刷組合(事業者団体)の存在意義を考える」

平成29年度 永年勤続表彰

第13回 印刷産業関連業界親睦ゴルフ大会開催

福山支部だより

事務局だより ●組合の動き

新しい広島印刷会館・広島県印刷工業組合

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

今年も「いんさつ広島」編集員一同、皆さまに身近な情報等をお伝えできるよう頑張りますので、どうかよろしく願いいたします。

写真は昨年10月11日に十日市町から南観音に引越をした組合シンボルの新しい建物です。昨年末に改装を終え、看板も取り付け、やっと皆様にお披露目ができるような状態になりました。事務所は2階にあります。どうぞ、一度見に来てください。

今年は戌年です、言い伝えでは「食べものに困らない」「道に迷わない」などがあります。家庭ではペットとしてワンちゃんを飼っている人は多いと思いますが特に可愛がってあげましょう。

今年も、皆さんが平和で健康で楽しく暮らせるよう祈っております。もう一つ、今年もカープがリーグ優勝をし、日本一になるよう皆さんで頑張ってください。

新年のご挨拶

— 2018年テーマ —

「つながり」という未来づくり

広島県印刷工業組合

理事長 中本 俊之



あけましておめでとうございます。

印刷業界ならびに関連業界の皆さま、健やかに新年をお迎えになられましたこと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は組合運営に格別のご支援ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。本年も昨年同様ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

さて、我が国の景気は2012年12月から拡大が続いています。その長さも1990年前後のバブル経済期を超えて戦後3番目になったことがニュースになり、2017年3月期決算では過去最高益の企業が相次ぎました。とはいえ年平均で1%台と非常に緩やかな成長で、日々の生活において実感はありません。さらに北朝鮮情勢の緊迫化、欧米の政治動向、中国の景気失速懸念といった問題が深刻化すれば、世界経済が減速し日本からの輸出が減少する懸念があります。人手不足の深刻化によって供給制約に直面し、景気の拡大を阻害するリスクも指摘されています。今後、人口が減っていく中で成長力を高めるには、労働生産性を向上させる必要があります。

このような時代における一つの道しるべとして、昨年、経済産業省が「Connected Industries」を発表しました。これはわが国の産業が目指す姿を示すコンセプトで、さまざまな「つながり」によって新たな付加価値の創出や社会課題の解決をもたらす社会を意味します。たとえば「もの×もの」「人×機械・システム」「企業×企業」「生産者×消費者」「地域×地域」など多彩なつながりが想定されていますが、忘れてはならないのはやはり「人×人」ではないでしょうか。

広島県工組は昨年『「つながり」という未来づくり』をテーマに掲げました。技術も機械もシステムも情報も、あらゆるものがつながって社会は飛躍的に進歩していますが、それらを扱い生かすのはまぎれもなく「人」です。AI（人工知能）のニュースを耳にする機会も増え、私たちの暮らしも自動化が進んでいますが、そんな時代だからこそ、今一度わたしたち人間の役割とあるべき姿を自覚し、有意義なつながりを広げていかなければなりません。このような意思を込めて、今年度も『「つながり」という未来づくり』を引き継ぐことを決めました。

20世紀半ば以降、コンピューター、インターネット、ICTなどの技術の進歩によって情報化社会は発展してきました。われわれ印刷業界も最新のテクノロジーを有効に活用して高品質・高付加価値の商品・サービスを提供し、より高いレベルでお客様の課題を解決できるよう進化し続けなければなりません。

しかし、大切なのは、人と人とがつながることで知恵や満足や感動を生み、幸せを創出することです。どんなにテクノロジーが進歩しても、そこに価値があることに変わりはないと信じています。われわれ印刷産業も、人の心が通っているからこそ、人に必要とされ、人を豊かする産業として生き続けることができるのです。

今年も14回目となります夢メッセを10月26日・27日に開催する予定です。今年からは広島ガーデンパレスに会場を移し、心機一転、より良い夢メッセを目指して取り組んでまいります。この夢メッセからも多彩な「つながり」が生まれ、人々が未来に夢を見出し、印刷業界が夢のある産業として発展していくきっかけとなれば幸いです。

輝かしい2018年を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

全日本印刷工業組合連合会

会 長 臼 田 真 人



明けましておめでとうございます。

旧年中は当連合会に格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年、10 月に開催いたしました「全印工連フォーラム」には、全国から 300 名を超える方々にご参集いただき、全印工連事業をより一層ご理解賜り、あわせて組合員の団結と協調を再確認することができました。これも偏に全国の印刷工業組合の役員、組合員、関連業界の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

また、全印工連が全日本印刷産業政治連盟（全印政連）とともに予てより提言を続けてまいりました官公需における知的財産権の適切な取り扱いについて、「平成 29 年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」に『知的財産権の財産的価値について十分留意した契約内容とするように努めるものとする』と盛り込まれたことは、全印工連および全印政連の多年にわたる活動の大きな成果であり、課題解決に向け大きな一歩を踏み出すことができました。1 社では解決できない課題を前進させることが業界団体の責務であり、全印工連の存在価値をより高めることができたのではないかと自負しております。今後は、関係各位、組合員各位のご協力により、その実効性を高める活動に注力してまいります。

さて、昨年の日本経済は、緩和的な金融環境と政府の大型経済対策の効果を背景に、11 月には日経平均株価がバブル崩壊後の戻り高値を超えるなど拡大が続いているとの報道がありましたが、中小印刷業界は原材料および運賃の値上がり等、依然として景気回復の実感が伴わない不透明感の残る年となりました。

このような中、全印工連は広報の強化、事業承継支援、環境労務対策、組合員および各種共済制度の加入促進、新印刷営業講座の実施、ダイバーシティ・マネジメントによる多様な人材の活用、CSR 普及活動、資機材問題への対応、官公需対策、遠隔セミナーの実施等、個企業単独では取り組むことが難しい課題解決に努めてまいりました。印刷業を取り巻く環境が大きく変化する中で、本年も組合員の皆様に役立つ印刷工業組合、価値ある印刷工業組合を目指し、各種事業を効果的に融合・連携させながら推進いたします。社会の期待に応えていくことが産業の使命であり、これを「志」として全国の組合員企業と共に、自信を持ってさらなる一歩を踏み出す年にしたいと考えております。皆様には一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018 年が皆様にとって明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



MORISAWA PASSPORT

メーカーの枠を超えた統合フォントパッケージ。
より豊かな文字環境を実現。

製品に関する詳しい情報は
www.morisawa.co.jp

MORISAWA FONT

年男新春エッセイ



「最善を尽くす」

NTT印刷株式会社 広島工場

工場長 馬場崎 清

(昭和33年生)



新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、1月生まれの私は今年60歳となり「還暦」を迎えます。「還暦」とは長寿を祝う行事ですが、現在では60歳はまだまだ若く長寿なんて感じがしませんが、戦前までの平均寿命は50歳にもならなかったそうです。ネットで見たのですが、長寿のお祝いが始まったのは鎌倉時代とも言われ、その頃はもっと短命で、「還暦」を迎える60才まで生きる事は珍しく、大変めだったそうです。現代では、90歳、100歳で長寿という感じで60歳という年齢はまだまだ若いので、今回家族から還暦祝いをされるのも変な感じがします。

さて、私は高校を卒業後、広島電話印刷に入社しました。当時、高度成長時代と言われた1954年～1973年以降の1976年に入社しましたが、電話帳生産は右肩上がり、北海道から九州と全国10社で電話帳生産が行われ、各工場の交流もあり組合活動を通じ全国の仲間と酒を飲んだものです。しかし、1997年をピークに電話帳広告の売り上げも減少しはじめ生産会社の合併が始まり、広島電話印刷も社名がハローデイン・NTTクオリスと変わり、今では電話帳生産は埼玉・大阪・熊本の3拠点のみで生産しています。

現在、広島工場ではNTT電話料金請求封筒を柱とし電話帳配達支援業務やビジネスホーム印刷の事業を行っています。2014年になり電話料金請求書発行会社と電話帳生産会社が合併しNTT印刷が誕生しました。

この様に社名変更や合併と色々ありましたが、2018年の年度末で退職定年する予定です。

昔を思い出すと、入社当時は活字の時代で、棚にある活字を原稿見ながら拾い集め、小箱に入れる作業「文選」と言いますが、その拾い集めた活字をレイアウト「組版」し校正刷りを行い、印刷機で生産していた時代です。それから写植～マックの時代になり印刷の前段階は様変わり、ついて行くのが大変だったことが思い出されます。

又、NTTクオリス時代に大阪・東京と転勤、単身赴任で色々な人とふれあい酒も飲み自分なりに充実した10年間の赴任時代が懐かしく思い出されます。広島に帰り2年目を迎え、2018年の年男60歳を迎えるに

あたり、何とか一生の仕事を印刷業で続けてこられたのは私にとって素晴らしい事で、これも仲間や先輩のお蔭、感謝・感謝です。

2018年戌年は私にとって大きな節目の年にしようと考えています。

私の好きな名言ですが

「どんなに悔いても過去は変わらない。

どれほど心配したところで未来もどうなるものでもない。

いま、現在に最善を尽くすことである。(松下 幸之助)」

60歳を迎え、今後自分の「やりたいこと^⑧」に最善を尽くすつもりです。





KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas



卓越した用紙対応力と高い生産性。
ハイブリッドワークフローに対応する
優れた画質と信頼性が、
新しい印刷サービス領域を切り開く。

25インチ幅大型インクジェット印刷機
**AccurioJet
KM-1**

AccurioJet KM-1は、コニカミノルタがデジタル印刷の創世から培ってきた技術に基づき、プロセスやRIPのほかに、新たにUVインクや高性能インクジェットヘッド、画像形成システムなどを開発し誕生しました。これらの最先端技術により生産機として重要な機能を実現し、「新規ビジネスの創出」「クライアントとの関係強化」「生産工程・事業の合理化」といった新たなメリットを生みだします。

コニカミノルタ ジャパン株式会社 PPG営業統括部 中国営業グループ 〒730-0004 広島市中区東白島町14-15 NTTフレッド白島ビル8F
TEL: 082-511-4655 <http://konicaminolta.jp/pr/odp>

年男新春エッセイ



「年男のご挨拶」

株式会社 ユニックス・セイコービジネス株式会社

代表取締役 宇都宮 公徳

(昭和 45 年生)



あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年 48 歳を迎えるにあたり、寄稿の機会を頂きました。気が付けば 47 歳、頭もかなり薄くなってしまい、鏡を見るたびに髪をブラシでかき上げている自分に気づいております。

私は生まれて半年で父(五郎)の仕事(当時広島東洋工業)の関係でアメリカ(デトロイト)にいました。4 歳半で帰国しましたが当時の記憶はほとんどありません。兄弟は、姉が 2 人で一番末っ子の男ということで、甘やかされて育てられたと思います。小学校の高学年の頃、父が叔父(卓蔵)の仕事を手伝い始めたのではないかと記憶しておりますが、定かではありません。土日になるとセイコービジネス㈱に行き休日に出勤されている社員に、缶ジュースを配ったりしたのを思い出します。また、中学、高校、大学の夏休みや春休みにアルバイトをさせて頂いたことも思い出します。父の印象ですが、ほんとうに仕事一筋の印象でした。

平成 18 ~ 21 年、平成 24 ~ 25 年の間、青年部部長を務めさせて頂きました。非常に多くの他地域で印刷業を営む経営者の皆さまとふれあい、意見を交わしあったことは、今も多くの財産として残っております。是非、経営者のご子息をお持ちの方には経験をさせて頂きたいと心から思います。また、呉青年会議所に平成 6 ~ 13 年までおりましたが、ここでも多くの事を学び経験をさせて頂きました。この 47 年間長いようで短かった気がしております。

これからの印刷業界を考えますに、もっと自分たちの仕事に自信をもって、自分たちで進むべき道を決めていける業界にしていきたいと思います。

営業に関して、すごくだいじな部署です。お客様との接点が多く、お客様のニーズ、仕事のボリューム、発注に關しての情報を一番多く握っているところ です。会社にとって良いお客さま、悪いお客さまをしっかり把握して良いお客様の仕事が増えていくような営業活動が出来れば、仕事の価値を上げることができるのではないかと思います。また、営業は大事な部署でありながら、営業活動に対する対価に関して理解されにくい部署でもあります。営業がお客様から評価を受けていないのは会社自体を評価されていないのと同じです。経営者と営業がもっとコミュニケーションを密にして会社にとって本当に大事なお客様にもっと営業の時間をさける体制が取れば、良くなっていくと思います。

経営に関して、まだまだ経験が浅いですが、過去の決算書を見て整理していくと沢山の情報が得られ、今後どうすれば良いか考えさせられます。しっかりと利益が取れる体制を、営業・生産としっかり話をし、毎年の利益から自己資本を厚くしていこうと思っております。年数を多く重ね

ても財務的に脆弱だと、今後にひかえる投資も考えにくくなるためです。各社の歴史も現状も違い、今後の事に関してもやり方は変わってきますが、独立して安定的に経営ができるよう、役員・社員それぞれに業務の資質を上げていき、今後の会社運営に当たります。

同じ業界で経営していれば、同業社の考え方も影響を受けやすく、工業組合内での情報交換・今後の経営のあり方など、出来るだけ共有し共に成長していける業界にしていこう活動してまいります。

新規営業への取り組みより、現在の顧客様の絞り込みと大事なお客様に対してのフォローアップ(お役に立っているか)の見直しを進めて行きたいです。新しいところを増やそうとするあまり価格競争をし、自らの価値を下げてしまうことは避けなければいけません。新規顧客なら、少しくらい高くても買って頂けるところを探してほしいです。(まずはこの営業だからお付き合いをさせて頂いているのですよと言われると非常にうれしいですね。またその後、御社だから商売を増やしているのですよと言われるようになったら最高ですね。)

情報技術の革新は目覚ましいものではありませんが、逆に情報に踊らされすぎて本質を見失っているように感じます。新しいものは、その良いところだけの情報しか耳に入らず、悪いところ(新しいものを取り入れることによって失われたもの)は、後になって気づかされているように感じます。と言って後戻りも出来ず…

現状は、そのまま受け入れなくてはなりませんが、今後は、作りなおせるものだと思います。もっともっと人として働きやすい環境づくりを目指して価値を再定義する必要があります。

我々の業界は、紙やインク、諸材料を沢山のメーカー・代理店や卸商さんに支えられて今日まで来ました。我々はお客様に自分たちの価値を理解してもらうよう頑張っておりますが、同じようにメーカー・代理店や卸商さんとお付き合いが出来ているでしょうか。自分の事ばかり言って魅力の無いユーザーになっていないでしょうか。一緒に成長していこうという意気込みがあるでしょうか?我々は、小さな存在です。一緒になって大きなものに立ち向かっていかなければなりません。値上げなど協力しあって価値を再定義するために協力できるところは協力していかなければならないと思います。

いつか、自動車業界や医療業界などに負けない業界になればと大きな夢をみんなで語り合えればと思っております。自分たちが社会を支えている存在であると胸を張って言い合える会社(業界)を目指して今年も 1 年頑張っております。

年男新春エッセイ



「 感 謝 」

株式会社 ユニバーサルポスト

執行役員 SP 営業本部

ゼネラルマネージャー 橋本 弘幸

(昭和 33 年生)



新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今回は弊社の年男を迎える社員の中で一番の長老ということで、私に白羽の矢が立ち今回の記事を書かせていただくことになりました。

改めて考えてみれば今年で還暦(60歳)でした。今でも気持ちだけはまだまだ若いつもりで頑張っていますがどうしても体力のほうが・・・。

還暦の記念にカープの安部選手(背番号“60”)の赤いユニフォームを着て写真でも撮るつもりでいましたが、先日のニュースで来シーズンから6番に変わってしまいました。残念！

振り返ってみれば、私が五日市にある大学を卒業し、縁あって入社したのが中本総合印刷(株)でした。それから38年間いろいろな事があり、現在は(株)ユニバーサルポストで営業として勤務しています。

就職時には、生産管理部の希望で入社したつもりが、なぜか配属は営業部に。1ヶ月間の研修の後、突然「明日から一人で外回りをするように。」と上司から言われ、何もわからないことだらけの同期入社の3人と明日からどうしようかと相談もしました。

翌日からそれぞれが営業に出て夕方帰社した時には、情報交換で今日の成果を報告しあって、一喜一憂したことを今でもはっきり覚えています。

当時はまだまだ良い時代でアポ取りなんて言葉もなく、毎日勢いだけで飛び込み営業の日々を送っていました。

その中で初日に飛び込み営業をしたお客様と、今でも営業担当としてお付き合いをさせて頂いていることに感謝です。38年間もありがとうございます。

それから後、先輩方から得意先を引き継ぎ、それまでに先輩が残してきた実績を壊さないよう、また会社の信用、信頼を失わないよう常に緊張感を持ちながら、今で言う長時間労働で日々頑張ってきました。

担当した得意先は、出版社、製造、食品、サービス業など様々な業種で、営業で訪問した際、担当者の方と色々な話ができたこと、人との繋がりができたこと

が感謝であり、私の一番の財産です。今では生産管理部ではなく、営業部に配属されて本当に良かったと思っています。

人生の半分以上を過ごし思い返してみれば、この60年はあっという間でした。

それは結果的に仕事も含め、私生活においても日々楽しく過ごすことができた充実した60年だったということで自分自身大変満足しています。

現在弊社では、CSR活動や働き方改革に全社あげて取り組んでおり、地域社会に少しでも貢献できるよう社員一同頑張っています。

今年で定年を迎え嘱託となり、社会人としての生活は残りわずかですが、その中で少しでも役に立てるよう感謝の気持ちを忘れず、皆と一緒に頑張っていきたいと思っています。

そして最後は家族に最大の感謝です。

これからは、今まで忙しくてなかなか出来なかったことや、約束だけして何も実現出来ていないことなど、1つずつゆっくりとやっていければと思います。

2018年が皆様にとって、明るい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

印刷インキ・諸材料一式

有限会社 新城印刷材料

〒733-0833 広島市西区商工センター 4-13-3

TEL(082)208-3636

FAX(082)208-3639

年男新春エッセイ



「年男を迎えるにあたって」

株式会社 ユニックス

営業部 貞森 大介

(昭和 57 年生)



新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局からエッセイのお話をいただき、年男だということにその時に気付いたという少しお恥ずかしいのですが、改めて時が過ぎるのが早いなと痛感しております。

私がこの業界に入り 18 年目を迎えました。時が過ぎるのが早すぎてあっという間に 17 年も過ごしてきました。

この業界に入る最初のきっかけですが高校時代に父親から何気なく製本の短期のアルバイトをしないかと言われ、何も考えず自社でアルバイトをすることになったのが、はじめの第一歩だったなと今となれば思います。父の「会社での顔」を、初めて見ることでできたのもその時でした。会社での父は普段の雰囲気とは全然違って厳しさが滲みでており、高校生ながら渋いなと思いました。その時に、偉大な父と同じ土俵で勝負をしてみたいと単純に思い、この業界に入る決意をしました。

それからいろいろ勉強し、修行し、経験を重ねさせていただき、今では目標としている父と会社（仕事）の話をするまで登ってきました。ただ、まだまだ父の背中はずっと遠く、いつまでもたっても追いつけておりませんが今後もその背中を目標に、精進していきたいと思います。

また、印刷工業組合の青年部に入って 5 年目となります。みなさんのお力には全然なれておりませんが……。青年部では印刷業界を盛り上げるため様々な取り組みをしております。これからも青年らしく何事にも元気に取り組みたいです。

平成 30 年ですが、どんな変化が起きるかなと期待をしています。

2016 年のドルッパ（4 年に一度ドイツで開催されている印刷機材展）に視察に行き、印刷業界の進化を肌で感じ、衝撃を受けました。その中でも AI 付印刷機が一番の衝撃だったかと思います。

この印刷機は、名前の通り人工知能が印刷を（版交換以外の全て）する機械でした。

人間は“スタート”と“ストップ”のボタンを押すだけで、あとは機械が勝手に考えて最適な印刷をしてくれたり、次の最適な作業手順をアドバイスしてくれたり、未来感たっぷりでした。デジタル印刷機であれば当たり前のような機能ですが、大型のオフセット印刷機でこの機能はすごいなと感動しました。2017 年にはその機械が日本の企業にも導入され、本稼働までしております。

このように印刷を取り巻く環境変化のスピードはとてつもなく早く、ぼーっとしていたらついていけなくなってしまいそうです。

“インダストリー 4.0”により印刷現場もまだまだ変化していくだろうと思いますが、どれだけ進化してもその中心にあるのは「人」だと思います。これからもいろいろなことに積極的に取り組み、人間力を磨いていきたいと思っています。

今の印刷業界には明るい話題が少なく、後向きな話題ばかりですが、決して下を向くことなく上を向いて突き進んで行きたいと思っています。

2018 年が皆様にとりましても“ワン！ダフル”な 1 年になりますようお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



あけましておめでとうございます

平成30年 元旦

アート印刷株式会社 代表取締役社長 細川 俊介 福山市南本庄1丁目10-38 〒720-0077 電話(084)924-5588	株式会社 アドプレックス 代表取締役 石原 崇宏 広島市中区舟入南1丁目1-18 〒730-0847 電話(082)232-4286	株式会社 石井印刷所 代表取締役社長 石井 千之 東広島市西条岡町9-17 〒739-0016 電話(082)423-2173
イチカワ印刷株式会社 代表取締役 市川 哲也 府中市元町422-2 〒726-0003 電話(0847)45-4358	今谷印刷株式会社 代表取締役社長 蔵田 和雄 東広島市西条町寺家6608 〒739-0041 電話(082)422-2714	株式会社 インパルスコーポレーション 代表取締役 後藤 明義 広島市安佐南区相田1丁目16-27 〒731-0141 電話(082)878-6000
N T T印刷株式会社 代表取締役社長 安田 雅美 廿日市市梅原1-3-2 〒739-0442 電話(0829)55-2201	大東印刷株式会社 代表取締役 大東 弘典 三原市皆実4丁目5-30 〒723-0052 電話(0848)62-3389	有限会社 加計印刷 取締役社長 大倉 啓司 山県郡安芸太田町大字加計3444-1 〒731-3501 電話(0826)22-0568
株式会社 呉精版印刷 代表取締役社長 高山 順子 呉市築地町5-4 〒737-0822 電話(0823)22-5011	株式会社 原色美術印刷社 代表取締役社長 田尾 直也 広島市西区商工センター7丁目5-48 〒733-0833 電話(082)277-3030	佐々木印刷株式会社 代表取締役 佐々木 孝朗 三次市東酒屋町306-55 〒728-0023 電話(0824)62-3539
有限会社 新洋社印刷所 代表取締役 島田 星平 広島市西区観音町4-14 〒733-0031 電話(082)232-3348	瀬戸内海印刷株式会社 社長 大田 恒三 広島市佐伯区石内北5丁目1-8 〒731-5109 電話(082)554-5500	株式会社 Taisei 代表取締役 吉岡 ゆかり 本社 広島市安佐南区祇園3丁目24-17 〒731-0138 電話(082)875-3232 東京営業所 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル2F 〒100-0013
中国印刷株式会社 代表取締役 山本 治朗 廿日市市大野387番地3 〒739-0422 電話(0829)50-2838	有限会社 トータルワーク 代表取締役 大道 綾彦 広島市西区中広町2丁目24-5 サンコーポ中広205 〒733-0012 電話(082)234-2133	中川印刷株式会社 会長 中川 仁 代表取締役社長 中川 隆 広島市西区横川町2丁目8-5 〒733-0011 電話(082)291-3841
株式会社 中本本店 代表取締役 中本 俊之 広島市中区東白島町13-15 〒730-0004 電話(082)221-9181	株式会社 ニシキプリント 代表取締役 宮崎 真 広島市西区商工センター7丁目5-33 〒733-0833 電話(082)277-6954	株式会社 沼田総合印刷 代表取締役 丸林 智行 広島市安佐南区沼田町阿戸657-1 〒731-3271 電話(082)839-2500
有限会社 花田印刷所 代表取締役 花田 一弘 広島市中区光南6丁目2-6 〒730-0825 電話(082)243-2062	広島印刷株式会社 代表取締役 小下 恵壮 広島市西区商工センター7丁目5-4 〒733-0833 電話(082)277-6050	広島中央印刷株式会社 代表取締役社長 田村 治重 広島市中区国泰寺町1丁目5-18 〒730-0042 電話(082)241-9291

あけましておめでとうございます

平成30年 元旦

有限会社 広島入力情報処理センター 代表取締役 玉野佳子 広島市東区矢賀新町1丁目6-14 〒732-0044 電話(082)510-1511	二葉印刷有限会社 代表取締役 浅田英史 本社 福山市霞町3丁目4-26 〒720-0812 電話(084)922-4785 工場 福山市山子町5丁目29-19 〒720-0092 電話(084)951-2124	株式会社 文化社 代表取締役 重本正哉 広島市西区商工センター7丁目5-56 〒733-0833 電話(082)277-2661
平和印刷株式会社 代表取締役 河上誠司 庄原市板橋町324-7 〒727-0014 電話(0824)72-1145	明生印刷有限会社 代表取締役 青木博 広島市中区舟入川口町18-19 〒730-0845 電話(082)231-9778	モンデン化成株式会社 代表取締役 田頭正芳 福山市神辺町道上2891-1 〒720-2104 電話(084)960-0345
株式会社 ユニックス 代表取締役 宇都宮公德 社 長	株式会社 ユニバーサルポスト 代表取締役 喜瀬清 社 長 広島市西区商工センター7丁目5-52 〒733-0833 電話(082)277-5588	金正印刷株式会社 代表取締役 薬師寺正憲 広島市南区段原南1丁目27-7 〒732-0814 電話(082)253-3301
株式会社 三丸シール印刷 代表取締役 須寄竜二 広島市中区舟入川口町2-35 〒730-0845 電話(082)232-5469	三和綜合印刷株式会社 代表取締役 近江弘至 福山市曙町6丁目1-11 〒721-0952 電話(084)953-1969	重田印刷株式会社 代表取締役 重田耕作 府中市本山町530-229 〒726-0001 電話(0847)41-2226
セイコービジネス株式会社 代表取締役 宇都宮公德 社 長 呉市郷原町4010-11 桑畑工業団地 〒737-0161 電話(0823)77-1122	有限会社 泰平紙業 代表取締役 角野壽男 広島市西区商工センター7丁目5-29 〒733-0833 電話(082)277-4301	東光印刷株式会社 代表取締役 小倉裕巳 社 長 広島市西区商工センター7丁目5-15 〒733-0833 電話(082)501-0780
株式会社 ハイマン インターナショナル 代表取締役 ハイマンブライアン 福山市南本庄2丁目4-27-102 〒720-0077 電話(084)928-3544	株式会社 ひろみ 代表取締役 増原智子 社 長 広島市安佐南区長束5丁目5-10 〒731-0135 電話(082)237-1687	福山エビス印刷株式会社 代表取締役 小田芳正 福山市東川口町1丁目5-5 〒720-0821 電話(084)954-2200
株式会社 ポップジャパン 代表取締役 熊本卓司 社 長 広島市安佐南区伴南2-5-19-26 〒731-3168 電話(082)811-8500	株式会社 有文社 代表取締役 中野博文 社 長 相談役 平地睦則 広島市中区光南3丁目5-6 〒730-0825 電話(082)246-1191	レタープレス株式会社 代表取締役 増田達朗 広島市安佐北区上深川町809番地の5 〒739-1752 電話(082)844-7500
謹賀新年 本年もよろしくお願いいたします 平成30年 元旦 広島県印刷工業組合 事務局		

「第5回拡大理事会」開催

～今年も役員会・夢メッセ等1年間お疲れ様でした～

12月8日(金)午後1時30分からKKRホテル広島に於いて、「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正案」セミナーが4時まで行われた後、今年最後の拡大理事会を4時20分から理事長、副理事長、常任理事他役員24名の出席で開催され、午後6時から忘年会を梅もと別館に於いて開催した。

会議開催の冒頭に中本理事長から「今年1年間、大変お世話になりました。第13回の印刷産業夢メッセも無事終わることが出来ました。また処々の行事と組合の引越も終えやっと皆様にお披露目できる所までになりました。ぜひ一度新しい事務所に行ってみてください。そして、ここKKRホテル広島での会議は今日で終わりになりました。来年は夢メッセ等も「広島ガーデンパレス」で開催します。より良い夢メッセになるよう、皆さんにいろいろとご相談をしたいと思います。また、30年のスローガンは昨年の“「つながり」という未来づくり”を継承します。今日はあと忘年会となりますのでゆっくりくつろぎましょう」と挨拶があり議題に入った。

議題

1. 2018年(平成30年)スローガン
2. 「平成30年新年互礼会」の申込みについて
3. 「新DTP技能検定」学科セミナー開催について
4. その他

注:「知らなかったでは済まされない 労働法と労働基準法改正案」セミナーの研修内容については、またの機会に掲載いたします。



お知らせ

◎「新DTP技能検定」学科セミナー開催について

要 旨: 技能検定製版職種(DTP作業)学科試験対策セミナーです。

過去の学科試験問題の解説を使用したセミナーを設け、受検者の学科試験対策のサポートをします。

開催日: 平成30年1月18日(木) 13時30分より3時間

場 所: 広島印刷会館 2階会議室

講 師: 相馬 謙一(全印工連 特別顧問)

対 象: 平成29年度 技能検定製版職種(DTP作業)申込者、及び組合員で次回の受験に備えての受講も可(全組合員可)

その他: 受講料は無料

受講者が車で来られる場合は、バック駐車と奥に詰めて停めてください。停められない場合は近くのパーキングへ

申込みは、広島県印刷工業組合 事務局まで TEL. 082-293-0906

紙の未来を拓く...



株式会社 豊田紙販売

代表取締役社長 豊田 栖 司

本 社 〒740-0022 岩国市山手町4丁目2-40 TEL(0827)24-3457/FAX(0827)24-1214
 広島支店 〒733-0833 広島市西区商工センター4丁目2-7 TEL(082)270-5155(代)/FAX(082)270-5166
 E-mail: toyota24@ruby.ocn.ne.jp
 岡山支店 〒701-0301 都窪郡早島町矢尾825-2 TEL(086)250-2345/FAX(086)250-4567

【夢メッセ基調講演】

「業界展望と印刷組合（事業者団体）の
存在意義を考える」全印工連会長 臼田 真人氏
(株式会社アドピア 社長)

第 1 部で、印刷産業を取り巻く変化、2 部で適正利益を確保するための視点、3 部が印刷組合いわゆる事業者団体の存在意義を考えるを、お話をさせていただきます。

【印刷産業を取り巻く環境の変化】ですが、日本の印刷等関連業出荷額の推移はもう下がり続けており、今 5 兆 3,500 億円です。一時は約 8 兆 9,000 億円ありましたが、約半分近くになってきています。その一時は 1997 年あたりです。この 20 年ぐらいで約 40%減ってきています。

全印工連の中にあります産業戦略デザイン室が、この先 25 年まで算出したものでは、我々の印刷産業は国の経済力に連動していますので、それに連動させて、プラスめ、低め、中間あたりを算出。毎年 2.75%ダウンでみると、2025 年には 4 兆円を切るような予測を立てています。上目に言っても 4 兆 6,000 ～ 7,000 くらいのところで落ち着くのかなとみています。そして事業社数は今より減って 1 万 8,706 社くらいになるだろう。ただし、1 事業社、1 社あたりの売上高はプラス 3%。全印工連の平均でも 2 億円を超えていく。1 社あたりの売り上げは上がっていく。これはプレーヤーが減るという計算です。

もう何年経ちますか、私たちのお客さまも価値の中心が移動した。皆さん感じられると思いますが、印刷業だけでなく、日本の国内すべてです。モノを売るという時代ではなくなったと皆さん感じられていると思います。今必要なのは、印刷物ではなくて周りにある機能やサービス、ここをお客さまは求められている。ただ印刷物を作ってくれる印刷会社ではなくて、自分たちの課題を解決してくれる印刷会社に仕事を発注していく。そういう時代に確実に変わっていつているわけです。ですから、ハイパー力で収益性の高い、そしてより利益性の高い会社さんは、困りごとの解決企業、まさに我々が話しているソリューションプロバイダーということです。

そして次に、データマネジメントプラットフォームといいまして、いまデジタル世界が多様化され、動画の分析、画像の分析、音声の分析であるとか。こういったものを我々は今後取り込んで、それを何かお客さまのサービス提供の 1 つのカードにしていくなきゃいけないということ。

それから、実際ハードの部分。これはすでに動き始めていますね、生産集約。その中で生産連携 ODM、それからスマートファクトリー化、M&A。今 1 社で設備投資して機械が空いているという時代から、連携を起こして、仕事を受注、回し合おうよという動きが

出始めています。それには、まずは連携するためのデータをやり取りできる MIS のシステムをそれぞれの会社がいま整備していくというのが大事ですし、実際に印刷物を刷るうえでの基準化、標準化、そうしていかないと連携できません。ですから、オリジナリティーで利益だせるよという会社は、本当に 1 社でやっていけばいいと思いますが、ある種、設備投資して機械が回らない。だから皆でしようということであれば、独白色よりは連携色を強めてしっかり仕事を共有する。こういう方向性も見出す必要があります。

それから第 4 次産業革命が来ますよ、今来ていますよという話ですが、第 1 次産業革命は、機械、蒸気、いわゆる動力の発明。第 2 次産業革命 19 世紀で、電気・科学の技術の発展。そして 20 世紀に入りまして、情報・通信技術。そして今、これから来ようとしているのが、AI、IoT を使った第 4 次産業革命。では、印刷産業の第 4 次産業革命はどのような形で実装していくかと思ったときに、キーワードはやはり IoT、それから AI もそうです。ディープラーニングの深層学習の話です。一番ここにきてポイントが高いと思います。

2 つ目は自動走行、モビリティ、これはちょっとどうかなと思う。3 つ目は金融、これもちょっと届かないかな。4 つ目、健康・医療・介護、ここはチャンスがありそうです。そして 5 つ目がスマートハウス、スマートコミュニティ、エネルギー、これはハウスメーカーさんでどんどんやっています。携帯で家のエアコンの管理とか冷蔵庫の管理とか。ここは我々が入っていける要素は多分にあるんじゃないかと思います。そして 6 番、教育。そして 7 番、8 番が農業、観光ということです。

ですから、第 4 次産業革命で IoT を通じて、さまざまなデータがやりとりされて、AI がはじき出したデータを必ずデータの中では解決しない、完結しない。これがリアルにさまざまな今話をさせていただいた、業界や業種に降りてくる瞬間です。ここを我々がどう捉えるかというのが第 4 次産業革命を印刷業界が実装するキーワードのような気が私はします。



当たり前のことですが、やはり社内における攻めと守り、この両方やっていく必要があると思います。原価の低減化、社内の管理、見える化をしっかりと進めてください。

攻めは売上利益を上げるために印刷物だけではなく、その周りの機能をしっかりと売りましょうということです。例えば、今全印工連の副会長で私のパートナーですが、彼はトップマネジメント、これはしっかりと落とし込みをします。部門管理をしますよ、現場管理をしますよ。これをただ言葉で言っているだけではダメなのですよ、という話で、販売管理、生産管理、このへんをデジタル化に落として自分たち独自のMISシステムを開発してここで見える化。さらに営業に関しては一人ひとりの営業担当の案件管理をする、日報管理はしていない。案件管理をしてコスト管理をする。ものすごくためになると思います。

守りの戦略術ですが、結局は今、働き方改革とか時



短とか言われています、あと何とかフライデーとか。いきなり制度どおりにやるのはできません。これにはステップがあり、まずは自社の業務改善による業務の標準化。自社に本当に無理・無駄がないというところを見直す必要があり、次にそれを数値化していく見える化が必要なんです。そして新たな働き方に準じた就業規定の再編。なぜならば、業務改善したら必然とそれに合わせた、さまざまな働き方を望まれる方を受け入れるための就業規定が必要です。これらすべてを循環させるためにそれを支える人事考課制度と給与規定を連動させる。これらをパッケージにしていかなないと、今世間で言われている働き方改革、ダイバーシティ経営とかはなかなか難しい、そういう話です。

今少し着手し始めた新しい技術はやはりVRです。今までは、お客様の売り場、小売店の売り場の提案をしてきていましたが、平面の提案から3Dになって、3Dのほうが臨場感があるという話をお客様とさせていただきましたが、VRのほうも無視できなくなってきました。実際にVRゴーグルを皆さんに掛けていただき、店舗に入ったところから順路を通っていただき、店舗の中ではこういう距離感で、こういう臨場感で、こういうふうな展示方法でやりましょうというものを実際にVRでお客さんにご覧になっていただく。

ここで何が派生するか、これはまだVR自体はぜんぜんお金になりませんが、お客様の反応が違います。「ああ、そうなの。面白いね、これ」。店舗に入って来たところから今までここにはポスターがなかったんだけど、ここに付けましょう。ここにはモニターがなかった

で、モニターを付けましょう。そういう話を展開すると、今までの紙で見せていたものよりも、お客様の反応がまったくいい。ですから、このVRをきっかけに受注率を上げていく、商談勝率を上げていく、そういった使い方もまだそのレベルでしています。あれこれやりながら、我々もいろいろ挑戦しているところです。実際に受注になり、リアル店舗で成功したのはこれです。

それから世の中に始めているファッション人工アプリ、センシー。センシーという会社が提供しているアプリで、その人に合う服のコーディネートを手工知能で全部はじき出して、そのお客様に提案するのです。それだけ言うと我々には何の接点もありますが、先程、第4次産業革命のお話でどこに我々の接点を導くのかといったら、アプリで見た人に、このアプリは家の近いところのリアル店舗とかを紹介したりするのです。さらに言うならばアプリでアクセスして、アクセス数が多いAさんのアクセス数が高いコーディネートデータを配信すると何が起るかというと、ダイレクトメールができるわけです。ここに我々の場所があるので。だからそれぞれの皆さんの地域のこういう感覚の、触手が触れるアパレルメーカーさんとかがあったら、ぜひセンシーと組んでサービス提供をして、センシーはこのアプリを提供しながら、我々の印刷業界はこっちのリアルなほうのプロモーション。イベントであるとか、ダイレクトメールであるとか、Eメールだとか。そこをサポート提供していく。そんなことが考えられるんじゃないでしょうか。

また少し遠い話になりますが、小学館が始める事業で、言葉EMP、小学館はいろいろな雑誌があります。そのそれぞれのメディアの情報をトレジャーという1つのサーバーに全部キーワードとして放り投げます。それを実際のメディアに出稿してくださるクライアント、資生堂さんとか、洋服メーカーさんだとか。そういった人たちが自分の商品を持ちたいときにキーワード、例えば資生堂さんだったら口紅何とか、ファンデーション何とかとやっていくとトレジャーというサーバーが、全部キーワードマッチングさせて人工知能で一番適したプロモーションプランニングを全部してくれるというものなんです。この「言葉EMP小学館」で検索していただくと、その記事がネット上に出てきますのでご覧になっていただければと思います。

 株式会社 ムサシ
中四国支店

中四国支店 〒730-0802 広島市中区本川町2丁目6番11号
TEL 082(232)9261 FAX 082(292)5976
岡山営業所 〒700-0926 岡山市北区西古松西町5番6号
岡山新都市ビル704
TEL 086(245)1081 FAX 086(245)1326
高松営業所 〒760-0079 高松市松縄町1030番地6
サニープレイス松縄202
TEL 087(815)0634 FAX 087(815)1634

こんなような形で、実はひたひたと第 4 次産業革命、コネクテッドインダストリーズ、スマートファクトリー、AI、IoT、ビックデータ、これが我々の環境にも来ております。ですから、ぜひここに関しては我々も感度をよくして、この情報、それから社内でも新たな取り組みとして、まず出来るところから取り組んでとそんなことが必要かと思えます。

そして最後になりますが、『印刷組合の存在意義を考える』を読ませてもらいます。昭和 20 年の印刷組合の出来る前の日本印刷産業総合統制組合という組織が発表した、戦後における印刷産業の在り方という文書です。

「我が印刷産業は経済界のかかる大激動の中にあって、この産業の持つ平和的・文化的機能を即時に発揮させ、戦後も引き続き強靱な生活を続けていくことができるのである。のみならず、文化発達に不可欠の工業として、戦後の重要国策の一つたる平和的新文化のために、積極的に寄与しなければならない新使命を課せられているのである。印刷産業に関係を持つ者は、自己の事業につき、この自信を堅持するとともに、印刷産業に寄与されたこの社会的・文化的使命を自覚し、戦後における新しき意味の印刷豊国に献身しなければならない」。実に素晴らしい。今の時代も、私自身印刷産業そのものは、まさに人々の暮らしを、本当の意味で豊かに幸せにする産業だと思っている。衣食住生活する上で絶対不可欠なもの。私は衣食住の次にこの印刷が来ていると思います。印刷がなくても死にはしないです。ただ印刷がない人類の生活って文化はどうつながって行くのかという話です。共有はどのような形でつながっていくんですか。デジタルだけでできますか。人々の暮らしは豊かに…。まさに先人たちの言葉どおり、我々の印刷業界は、人々の暮らしにはなくてはならないもので、人々たちを豊かに幸せにする産業である。これは改めて自分たちにも自覚する時代が来ているのではないのでしょうか。この文章を見て、本当にびっくりしました。まさにここに集約されているなと思います。先人たちはすごい、本当に尊敬します。

さて、リアルな話に戻ります。私たちは戦後があり、高度経済成長があります。それから産業構造が崩れ、護送船団が終わりました。1999 年、2000 年には「共創ネットワーク 2000 計画」を出されました。これによって、今までの機械設備をどんどん入れてという時代は終わりました。業界変革推進、直近ではソリューションプロバイダーの深化、そして印刷道、2025 計画。これらを組合のほうで提供をさせていただいております。

印刷組合の変わらない 3 つの目的は、共済、連帯、そして対外窓口です。共済は生命共済とかいろいろあります。連帯については業界の地位向上、業界と経営ヒントの共有、そして労務環境整備、環境対応等、本当にたくさんの情報が印刷組合にはあります。これをどのように自社に持ち帰るのがポイントです。そして対外窓口は官公需取引の改善運動、政策提言と各種運動、資材価格調査の対応、各種ロビー活動。この辺は皆さんもご存知でしょうが、昨今印刷組合そのものの自体もロビー活動に非常に強力的に進めております。各地域における官公需

対策、官公需取引の改善については、2 年前かな、自民党の衆参先生方に印刷産業振興議員連盟、いわゆる印刷族というものを作っていただき、今 100 名以上が参加し、官公需取引の改善活動や諸問題に対しての取り組みをしていただいております。

少し踏み込みます。これは共済という部分で組合の賦課金と交付金の話ですが、全印工連は各県工組から年会費をいただいております、それによりさまざまな事業に取り組み、皆さんに情報提供をする。その中に共済であるとか、Adobe のライセンスプログラムであるとか、VOC の警報機、CSR、さまざまな認定に立ち会っていますが、これを組合員のお一人おひとりにできる限り情報を伝達し、そして組合員が自社の会社のために取り組んでいただいた結果、実はいくばくかですけど、そのお金が手数料という形で各県工組に戻る仕組みになっています。これは事実です。

実際に 1 年間、県工組が全印工連の本部に払う年会費よりも、事業を取り組んで戻す手数料のほうが多い県工組がなんと 10 県あります。実は広島県もほぼほぼいいです。ぜひこれはうまく使って、印刷組合の事業をご理解していただきたい。

それから今、組合の方で事業改革を始めています。それは経営革新対策、地域社会対策、さまざまな観点から、今産業戦略対策中心に新たな計画を策定し始めています。豊かに、そして幸せになる産業、ちょっとまだ仮名ですけども、幸せ創造産業、ハッピー印刷…という感じで新たな計画を考えています。来年の春に期待しています。

最後ですが、経営者の皆様へのお願いです。組合事業を観客席から見ているのではなくて、ぜひグラウンドに下りてください。なぜなら皆さんはプレーヤーですから。組合費は機関誌の購読料ではなく、開かれた組合事業の参加を可能にする費用です。その参加費分、それ以上の活用を得るためにも、全印工連という整備されたグラウンドを利用し、同じ志を有する仲間たちとさらなる経営力を備えていただきたい。また、印刷組合が何かをしてくれるわけではありません。この時代を生きる私たち当事者が、社員が誇りを抱き次世代の子どもたちがあこがれる産業へとこの印刷組合を利用し、何ができるのか、ここが今我々に問われているところだと思います。

本日は誠に最後までご清聴ありがとうございました。



平成 29 年度 永年勤続表彰 受賞者の皆さまおめでとうございます

平成 29 年度の永年勤続表彰が 11 月 23 日付けで実施され、勤続 30・20 年の被表彰者には臼田真人全印工連会長・中本俊之県工組理事長連名、勤続 10 年被表彰者には中本俊之県工組理事長名で表彰された。

今後も引き続き健康に気を付けて頑張ってください。受賞者は次のとおり

勤続 30 年表彰 11 名

- | | | | |
|--------------|----------------|-------------------|------------------------|
| ◆田井 正俊・長 敏晴 | 〈株式会社ひろみ〉 | ◆鈴木 雅雄・松原 司・梶原 孝文 | 以上 3 名 〈株式会社ユニバーサルポスト〉 |
| ◆竹田 和之・武門 真人 | 〈株式会社中本本店〉 | ◆太田 一義・山田 恵美 | 〈佐々木印刷株式会社〉 |
| ◆大村 敏也・見浦 雅宏 | 〈セイコービジネス株式会社〉 | | |

勤続 20 年表彰 16 名

- | | | | |
|----------------------------------|-------------------|--------------|-----------------|
| ◆政廣 ちよ子・西家 浩 | 〈株式会社ひろみ〉 | ◆上野 茂樹・川又 一恵 | 〈株式会社新生〉 |
| ◆福原 将二・村上 とよ・橋本 一雄・仲正 岳司 | 以上 4 名 〈株式会社中本本店〉 | ◆中川 貴雄・廣畑 一洋 | 〈株式会社ユニバーサルポスト〉 |
| ◆冬野 賢市 | 〈明生印刷株式会社〉 | ◆井上 隆・岩田 慎司 | 〈セイコービジネス株式会社〉 |
| ◆白澤 雅史・中村 英雄 〈株式会社インパルスコーポレーション〉 | | ◆妹尾 卓也 | 〈平和印刷株式会社〉 |

勤続 10 年表彰 18 名

- | | | | |
|-------------------|-------------------|--------------------|----------------------------|
| ◆立本 節夫・殿畑 秀二 | 〈株式会社ひろみ〉 | ◆細川 貴司・高間 雄介・田村 和也 | 以上 3 名 〈株式会社インパルスコーポレーション〉 |
| ◆清水 亜樹 | 〈広島県入力情報処理センター〉 | ◆石津 元紀・田中 俊・流 未緒 | 以上 3 名 〈株式会社ユニバーサルポスト〉 |
| ◆戸野 真琴・東 義則・石川 義晴 | 以上 3 名 〈株式会社中本本店〉 | ◆長嶺 秀樹・羽山 裕一・山田 敦 | 以上 3 名 〈瀬戸内海印刷株式会社〉 |
| ◆中山 修 | 〈株式会社有文社〉 | | |
| ◆和田 竜一・松室 直博 | 〈宇都宮パック工業株式会社〉 | | |

第13回印刷産業関連業界 親睦ゴルフ大会開催

11 月 9 日（木）、広島安佐ゴルフクラブで印刷産業関連業界親睦ゴルフ大会に 30 名が参加、当日はこの秋一番の好天に恵まれゴルフ日和、あとは腕前（成績）だけですが、皆さん怪我もなく楽しくプレーされた。

午前 9 時 15 分、宇都宮運営委員の司会で開会式が始まり、中本大会会長の「2017 印刷産業夢メッセは、皆さまのご協力により、大変盛況で終えることができました。今日は日頃なまっている体を十分使いゴルフでグリーン場での親交を深め、お互い楽しいゴルフをしましょう」との挨拶の後、OUT・IN 9 時 30 分に同時スタートした。

大会終了後の表彰式では、司会が下位からの成績発表を行い、たくさんの賞品を前に、誰が呼ばれるか、自分の番は、で発表の都度大変盛り上がり和気あいあいのうちに終了した。



成績は以下のとおり。(敬称略)				ネット
優 勝	秀浦 忠利	株式会社秀巧堂		73.6
準優勝	森脇 健二	広島インキ株式会社		73.8
3 位	尾崎 隆司	株式会社モリサワ		74.2
ベスト	秀浦 忠利	株式会社秀巧堂		82



お知らせ

老若男女、誰でも、下手と思われる方でも参加できます。

このゴルフ大会は、印刷産業関連業界にたずさわる、どなたでも参加できます。次回はあなたも参加してグリーン上での交流を深められたらいいでしょうか。大勢の参加をお待ちしております。

福山支部だより

12月例会は「超!望年会」

12月1日(金)、福山支部価値組委員会の12月(第177回)例会は、いつもと趣向を変え、場所を変え、今年1年を振り返り、そして新しい1年を望もうぜ!との趣旨で「望年会」として開催しました。

漢字の遊びと言われるかもしれませんが、そこはそれ。忘れる年の会ではなくって、新しい年を“望む”会という事で望年会。それも「超!望年会」と気合を入れたネーミングにしておいた開催でした。

懇親会とはいえあちこちで熱い会話が繰りひろげられ熱気むんむんの会になり、あっという間に時間が経過した感じで、これも“望年会”だからなのかなって思った。語りすぎてのどが痛い(苦笑)。

新しい年が希望に満ち溢れたものに出来るかどうかは自分たち次第。しっかり胸を張って望んでいこうと、そんな風にみんなで共有できた例会でした。(田頭)

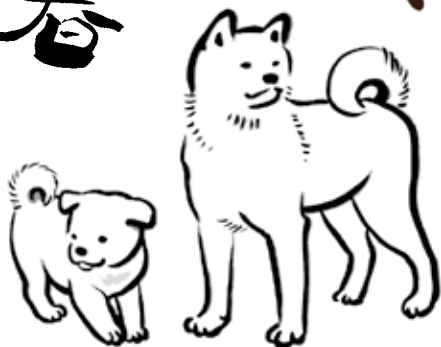


事務局だより

◎組合のうごき

12月	1日	産業戦略デザイン室会議	東 京
	8日	「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正案」セミナー 第5回拡大理事会	KKRホテル 広島
		役員忘年会	梅もと別館
		ダイバーシティ推進室委員会	東 京
	21日	支部長会議	印刷会館
1月	5日	県工組新年互礼会	リーガロイヤル ホテル広島
	6日	呉支部新年互礼会	呉阪急ホテル
	11日	備後印刷産業新年互礼会	福山ニュー キャッスルホテル
	14日	DTP技能検定実技試験	広島コンピュータ学園
	18日	DTP技能検定学科事前研修	印刷会館
	19日	備北支部新年互礼会	簡保の郷庄原
	20日	製本工業組合新年互礼会	センチュリー21
	26日	経営革新マーケティング委員会	東 京

TOYOINKGROUP



旧年中は格別のお引き立てを賜り
厚く御礼申し上げます。

本年も相変らぬご愛顧の程
よろしくお願い申し上げます。

東洋インキ中四国株式会社

〒730-0015 広島市中区橋本町10-6 広島NSビル 11階
Tel: 082-511-3411 Fax: 082-511-1601
www.toyoinkgroup.com

2018
謹賀新年



印刷の新たな未来へ、
あなたと共に。

FFGSは本年も、
すべてのお客さまの最良のパートナーとして、
一社一社の企業価値向上に貢献するとともに、
印刷業界のさらなる発展、明るい未来のため、
グループ一丸となって
新たなイノベーションに挑み続けてまいります。

Value from Innovation

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

中国支店 〒730-0045 広島市中区鶴見町4番22号 MKD1ビル 082(249)7155 [ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp](http://ffgs.fujifilm.co.jp)

SCREEN

謹賀新年

ACHIEVE THE EXTRAORDINARY IN PRINT



SCREENは本年も、長年培ってきた画像処理技術と最先端技術とのオープンイノベーションによる様々な印刷アプリケーションをご提案し、印刷業界のさらなる発展を全力で支援してまいります。

株式会社 メディアテクノロジー ジャパン

中国営業所/082(264)6451
本社/03(5621)8266(代)

〒732-0824 広島県広島市南区的場町一丁目2-21 広島第一生命OSビル
〒135-0044 東京都江東区越中島1-1-1 ヤマトネ深川1号館1階

